

## 第18回（令和2年度第4回）学校運営協議会議事録

日時：令和3年1月23日（土）10：15～11：30

Web会議

### 出席者（敬称略）

#### 【委員】

- 倉岡 正高（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所研究員）
- 高桑 誠（本校PTA会長）
- 鈴木 秀幸（青葉区大場町在住）
- 内川 隆（本校同窓会長）
- 田中 多恵（NPO法人ETIC.横浜ランチマネージャー）
- 福田 晴好（翔凜高等学校特別講師）
- 瀬高真一郎（本校校長）

#### （欠席者）

- 飯島 正徳（東京都市大学知識工学部教授）
- 石井 廣康（横浜市資源循環局青葉事務所所長）
- 竹下 恭子（横浜市立市ケ尾中学校長）

#### 【事務局】

- 米田 朋正（本校副校長）
- 川島 秀生（同 教頭）
- 檜垣 桜子（同 事務長）
- 宮地 広（同 学校運営協議会担当）
- 諸岡 丈幸（同 学校運営協議会担当）
- 大矢 真（同 学校運営協議会担当）

#### 【本校各グループリーダー】

- 吉行 伸（本校カリキュラム開発グループリーダー）
- 本屋敷隆裕（同 キャリア支援グループリーダー）
- 佐藤 淳（同 管理運営グループリーダー）
- 吉居 英明（同 生徒会支援グループリーダー）
- 伊藤 和久（同 生徒指導グループリーダー）

#### （欠席者）

- 佐野 英樹（同 地域連携・広報グループリーダー）

## 1 会長挨拶

## 2 校長挨拶

## 3 報告・協議事項 《委員○、学校●》

### (1) 部会の報告について

#### (ア) 部会の報告① 第2回生徒による授業評価について(資料1)

学校評価に係る校内評価について(資料2) [学校評価部会]

授業評価は、「4かなり当てはまる」の割合だけが示されているが、生徒は「4」と「3ほぼ当てはまる」の違いを認識しているのか分からない。学習の状況に関する評価項目4・5・6・7の評価の高低の傾向は2年間変わっていない。多くの科目で質問5に関する評価が低い。コロナ禍で制限がある中ではあるが、2年連続の結果なので学校として対策すべきである。理科の評価で、「4かなり当てはまる」の評価が低いので、底上げをお願いしたい。

#### (イ) 部会報告② 新たな地域連携の研究について(資料3) [地域協働部会]

今までの連携は部活動単位が多いので、学校全体で連携事業に関われるようにしてほしい。いろいろな連携先を学校で訪問していただいた。これからの展開がどうなるか楽しみである。委員から、リモートでできる活動の紹介があった。また、生徒のコミュニケーション能力育成に地域の力が利用できるという発言があった。

#### (ウ) (ア) (イ) に関する質疑応答等

○評価について、グラフが多いので経年変化を見られるようにしてほしい。

●経年変化は重要である。次年度以降、経年変化も追えるように改善する。

○生徒は3年間在籍するため、3年間の変化が見たい。

○評価について Google で評価を回収しているが、前とは違った分析もやりやすくなっているのではないかと。また、今回の質問に回答した結果と成績やテスト等の相関点がわかるとよい。質問6、7が学力向上に関係しているなどの研究の分析を載せてほしい。

●技術的な面で不安もあるが、工夫できるところはしていきたい。

○この評価の発信源はどこなのか。また、文書は教育委員会独自のものであるのか。

●全県共通なので、質問項目は教育委員会が作成したものである。本校では Google のプラットフォームを活用してアンケートを回収している。

○全県共通で Google のプラットフォームを使用しているとなると、結果だけ報告しているのでしょうか。

●全県で Google プラットフォームは使っていない。今まで通り、紙ベースで行っている学校もある。結果を総合教育センターに報告するようになっている。

○授業評価の項目「4. かなりあてはまる」「5. ほぼあてはまる」の、「かなり」と「ほぼ」を生徒はどのように受け止め、評価しているのか、もっと判断しやすい表現の方がいいのではないかと。

●教育委員会にもこの意見をフィードバックしておく。

### (2) 学校からの報告

朝の『時差通学』の継続。全日制課程では40分6校時までだが、本校では木曜日の1日のみ40分7時間で授業を行っている。『部活動』に関しては、平日週3日90分校内での活

動のみとして実施している。

各行事に関しては、延期もしくは中止としている。1月19日からの北海道ニセコへの『修学旅行』は中止とし、代替案を検討中である。

進路に関しては、例年に比べ、推薦利用者が増えている。共通テスト受験者は356名である。

新カリキュラムは令和4年度から本格スタートする。あり方研ワーキンググループで検討し県に報告している。

『卒業証書授与式』に関しては、緊急事態宣言がどうなるかを受けて、県の指針が今後示されると考えている。

2年生の『総合的な探究の時間』は、修学旅行の中止に伴い計画していたものができなくなってしまった状況がある。

『入学者選抜』に関しては、合格発表をWebで行うなど、コロナ対策に配慮した様々な変更点がある。

『第三者評価』に関しては、「具体的な方針の策定や組織的推進体制の整備」が課題であると指摘された。目標達成に向けた指標として、「進路に関する満足度調査の実施」「模試の結果についての教科検討会の実施」「育成方針表の作成」を設定した。

○総合的な探究の時間について、具体的に2年生の学習はどのように進んでいるのか。

●週1時間で行っている。内容はSDGsを中心に行った。緊急事態宣言が出てしまったため、グループワークなどは行えず、各個人で活動に取り組んでいる。

○SDGsについて学んでいるのか。

●1年生から行っているものの延長活動である。

○アウトプットはどのように行うのか。

●昨年度はポスターセッションを行った。今年度は、3月16日にSDGsについての発表活動を行う予定である。

○対面でなくても行える範囲でペアワークをするべきではないか。

また、市ケ尾中学校でもSDGsを重視しているので連携できるのではないか。

○修学旅行が中止になったが、代替案はないのか。

●緊急事態宣言がいつ解除されるかや、キャンセル料なども考慮して学年団で検討中である。

○市ケ尾高校の教員がコロナウイルスに感染したが、学校ではどのような対策を講じているのか。

●本校の教員1名が感染した。県に2週間の行動記録を報告した。対策としては、マスク着用の徹底、手洗いうがいの徹底、また食事の際の会話の制限や手洗い場で口をゆすがないなどの対策を講じている。

○リモート授業が話題だが、リモート授業は行っているのか。またそれはどのような授業でリモート授業に対してどのように考えているのか。

●臨時休業中のオンライン授業は行っていない。生徒にICTに関するアンケートを取ったところ、ICT機器を持っていない家庭が複数あったためである。代わりにリモート授業ではないが8分～10分程度の配付課題の解説動画を作成し、Googleクラスルームを通じて配信した。ICT機器を持っていない家庭には貸出を行った。

- 令和4年度からのカリキュラムで国語の科目が増えている。
- 新たに設定された科目がある。
- その科目を設定した目的は何か。
- 国の方針である。目的としては、社会に対応できる人材育成により特化した授業になっている。
- 論理的思考力や、文章の書き方などのスキルが欠けていると日常的に感じているため、今後の教育に期待している。論理国語は現行の教員で教えることができるのかが心配要素である。「総合的な探究の時間」は教科横断的に取組むべきであるが、論理国語とどうつながるのか注意してほしい。
- 第三者評価の位置付けが分かりにくい。第三者評価で指摘されていることと、学校運営協議会で指摘されていることの違いが不明確である。また、学校はそれら指摘に対して指標が設定されているが、学校運営協議会との関係性の中でどのような意味を持つのか
- 第三者評価には授業評価や、学校運営協議会議事録などの2年から3年分を提出した。昨年11月にヒアリングして、協議を行った。また授業見学も行った。  
どのようにすれば課題解決できるかを考慮して指標を決定している。3月にもう1度第三者評価があるので、その後具体的に報告したい。
- この評価の位置付けはどうなっているのか。
- 学校運営協議会とのすみわけがかなり難しいので、現段階での位置付けはできていない。

### (3) 学校施設の防犯対策について

駐輪場で破壊行為があり、防犯カメラの設置を計画していた。当初、すでに設置してあるものに追加する形で県費での執行を考えていたが、時間がかかるということもあり、PTAの予算でお願いすることになった。2月に工事予定である。

- 校内で盗難事件が発生していると聞いている。
- 1学年、2学年で盗難事件が10件以上発生した。教室のカギの取り付けなどの対策を取っている。

### (4) その他

- コロナの状況だからできることもある。学校だけでできることは限られている。外部に助けを求めてたりすることを考えられないか。OBにパソコンの提出や資金援助を求めている学校もある。「総合的な探究の時間」も、同じような状況の学校どうして連携できると思う。
- コロナによって改革できたところは続けてほしい。今後に向けて、継続していくべきところをピックアップしていただき、この場でも議論できるとよいと思う。
- 前回、働き方改革について言及されていたが、成果・課題等何かありますか。
- 職員アンケート等は取っていないが、年休の取得は積極的になってきていると感じている。次回までに資料が示せればと思う。

## 4 その他 次回開催日の確認

令和3年 3月13日(土)